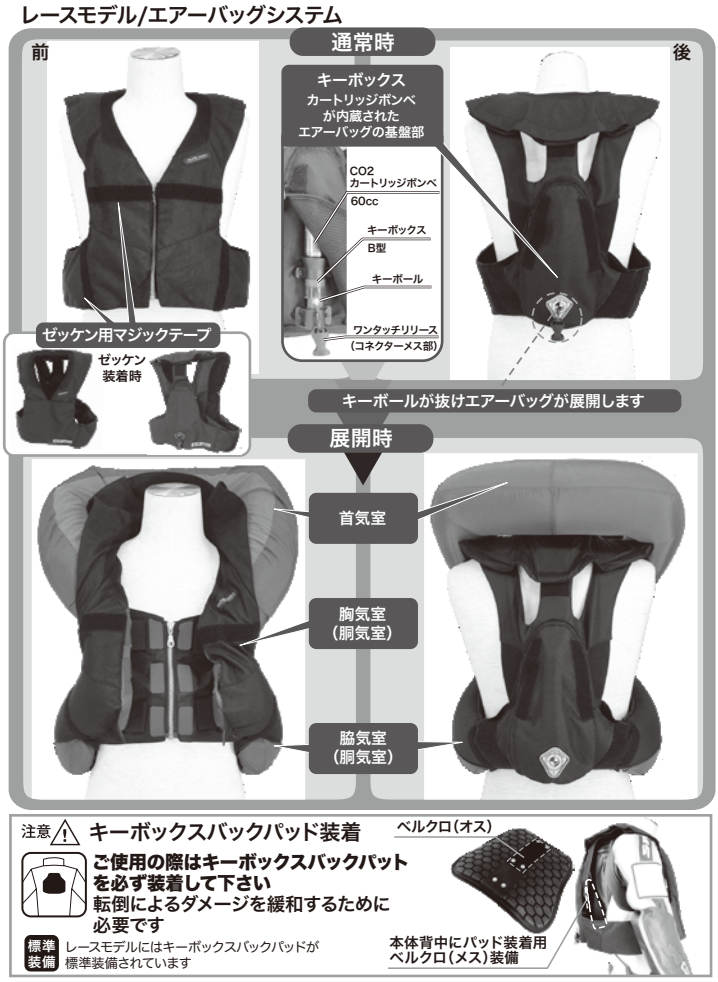
※エアバッグの注意事項や特徴は同梱のマニュアルに従って下さい

hit-air RACE MODEL AIRBAG

レースモデル/エアーバッグシステム



注意 ⚠ **キーボックスバックパッド装着**

ご使用の際はキーボックスバックパットを必ず装着して下さい
転倒によるダメージを緩和するために必要です

標準装備 レースモデルにはキーボックスバックパッドが標準装備されています

レースモデル再生方法

1.再生に必要な工具を準備します(写真1)
未使用のカートリッジボンベと再生に必要な工具の六角レンチとセッティングボルトを準備します。

注意 ⚠ カートリッジボンベは 60cc をご使用下さい。

2.キーボックスにセッティングボルトを差し込みます(写真2)
キーボックスの下面にある穴にセッティングボルトを差し込み、手で締めます。きつくなったら六角レンチを使用下さい。(ボルトを締めるとキーボールの穴が下へ移動します)

3.六角レンチでキーボールの穴が中心にくるよう調節します(写真3)
徐々に締めていき内側の金属穴を外側穴の中心に来るように調節します。

4.キーボールをセットします(写真4)
キーボールのリングを穴に深く押し込みます。リングと穴を平行にセットします。うまく入らない場合は、セッティングボルトを緩めたりリングを爪で押し込んだりします。

5.赤ガード(スライドカバー)でキーボールが正しくセットされたかを確認します(写真5)
キーボールのワイヤーループを下に向け、赤ガードを下にスライドさせます。スムーズに下にスライド出来ればセット完了です。下にスライド出来ない場合は、キーボールが正しくセットされていませんので、再度、セッティングボルトを緩めたりリングを爪で押し込んで正しくセットして下さい

6.セッティングボルトを外します(写真6)
キーボールがセット出来たら必ず六角レンチでセッティングボルトを外します。

7.赤ガードを上にスライドさせ、再使用出来るようにします(写真7)
注意 ⚠ 赤ガードを下げた状態で作動すると破損、誤作動の原因になります

写真1

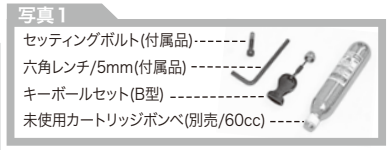


写真2

写真3

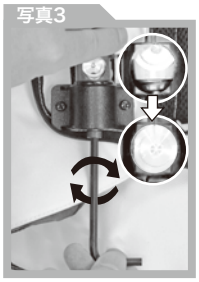


写真4

写真5

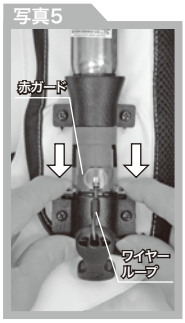


写真6

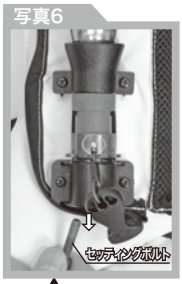
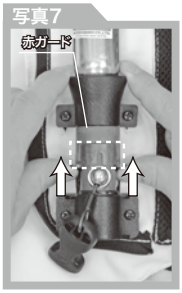


写真7



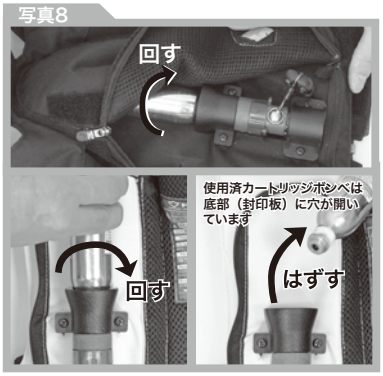
警告 ⚠ セッティングボルトを外し忘れるとエアバッグは膨らみません。

次ページへ

8.使用済カートリッジボンベを回してキーボックスから外します。(写真8)
カートリッジボンベの付根はネジになっていますので、使用済カートリッジボンベを写真 8 の様に回しながらキーボックスから外します。

カートリッジボンベのシールの指示方向に外します

写真8



9.エアーバッグ(気室)からエアーを抜きます(写真9)
気室からガスを抜く作業を行います。突起物などの無い平坦な場所にレースモデルを広げて各気室部分を押すようにしてガスを抜き出して下さい。
丸めたり、畳んだりする行為はおやめ下さい、内部部品に損傷を与える場合があります。根気よく、ほぼ完全にガスが抜けるまで行って下さい。

注意 ⚠ この作業が完全に行われない場合は各気室部分の収納がうまく出来なくなります。エアーバッグの破裂する恐れがあります。

写真9

10.各気室を収納してボタンやマジックテープを留めます(写真10:1-4)
各気室のガスが抜けきった事を確認してから収納作業を行って下さい

首気室を収納します
①首気室上部をA,Bの順で蛇腹状に畳み、マジックテープとボタンを留めて収納します(写真10:1)

注意 ⚠
丸め込んだ状態で収納しないで下さい。
丸め込んだ状態で収納すると、正常に展開しない恐れがあります。

写真10:1

次ページへ

②首気室の両サイドも蛇腹状に畳み、マジックテープとボタンを留めて収納します(写真10:2)

注意 ⚠
丸め込んだ状態で収納しないで下さい。
丸め込んだ状態で収納すると、正常に展開しない恐れがあります。

③首気室全体にネジレなどがないか確認しながら形を整えます

脇気室を収納します
④両脇の気室は内側へ折込みマジックテープを留めて収納します(写真10:3)

胸気室を収納します
⑤胸気室はマジックテープを合せて留めます(写真10:4)

写真10:2

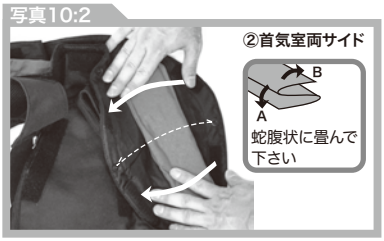


写真10:3

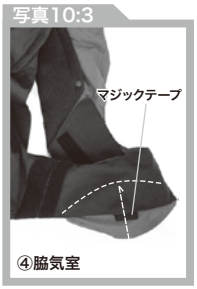


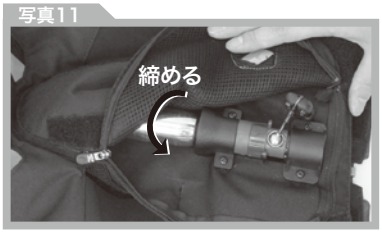
写真10:4

11.未使用のカートリッジボンベを取付けます(写真11)
未使用のカートリッジボンベを、キーボックスの取付けネジ部分に根元までねじ込んで下さい。異常が感じられる場合は取扱店にご相談下さい。

カートリッジボンベのシールの指示方向に締めて取付けます

注意 ⚠ カートリッジボンベのねじ込みが緩いと、エアバッグ作動の際に膨らみが弱くなるなどの誤作動の原因になります

写真11



12.キーボックスカバーを閉じる
ワンタッチコネクターメス部をキーボックスカバー穴から外に出し、キーボックスのカバーを閉じて下さい。

完了

MUGEN DENKO JAPAN 無限電光 株式会社 〒468-0055 名古屋市天白区池場1-1012 TEL 052-807-7750
E-mail mugen@hit-air.com

※予告なく形状・仕様・使用方法を変更する場合があります。

取扱店名 必ずご記入ください。記入のない場合は保証が受けられない場合があります。

ご購入日　　年　　月　　日

ご購入者 必ずご記入ください。記入のない場合は保証が受けられない場合があります。

氏　名

住　所　〒　　ー

ヒットエアー付ジャケット記録MEMO

作動履歴　年　月　日

作動履歴　年　月　日

作動履歴　年　月　日

作動履歴　年　月　日

無限電光 株式会社
〒468-0055 名古屋市天白区池場1丁目1012
TEL 052-807-7750 FAX 052-807-7901
E-mail mugen@hit-air.com
URL www.hit-air.com

キリトリ線

常時携帯

AIRBAG SYSTEM Manual

※使用前に必ずお読み下さい

hit-air SHOCK BUFFERING SYSTEM

ヒットエアー衝撃緩和保護システム

取扱説明書

一体型エアバッグ

《 キーボックス B型 》

www.hit-air.com

⚠ ご使用前と再生後に必ずチェック！

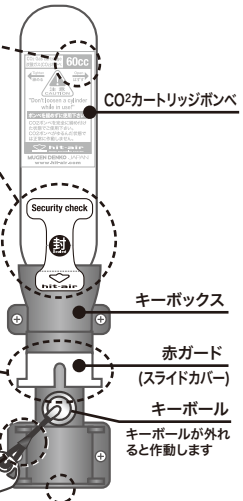
ヒットエアーをご利用頂き誠にありがとうございます
エアバッグジャケットを安心安全に、正しくご利用頂くために…
当社は出荷時に検品を行っていますが、出荷後に何らかの問題が生じた場合など、また、各自で再生した場合に、安心してご利用頂くためにご確認ください。

ご使用前に❶〜❻について必ずご確認下さい！

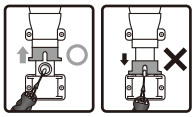
注意⚠ **○正しいセットが行わてないと作動しない場合や誤作動の原因になります。**
○一度作動したCO²カートリッジボンベは使用できません、必ず外して下さい。
○hit-air製CO²カートリッジボンベ以外は使用できません。

❶ モデル指定サイズ(容量)の CO²カートリッジボンベが付いている
CO²カートリッジボンベのシールにサイズ表示があります

❷ 封印シールが正常(破損なく)に付いている
※各自で再生した場合は付いていません
当社出荷時に未使用CO²カートリッジボンベと
キーボックスに封印シールを付けています。
(※キーボールが付いた状態)
・モデル指定サイズ(容量)のカートリッジボンベを装備。
・カートリッジボンベのネジの緩み防止。
・使用済空カートリッジボンベの取付け防止。
注意⚠ **作動後の再生は、必ず"キーボックスの再生作業"の手順に従って下さい。(P21〜23 参照)**

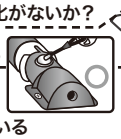


❸ 赤ガードが上げた状態である

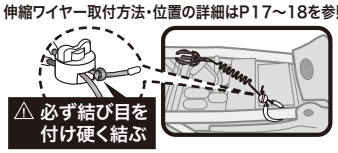


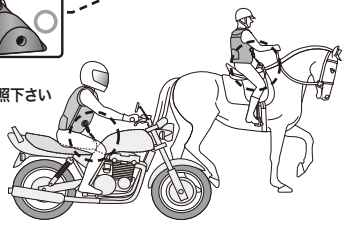
❹ ワイヤーループ、伸縮ワイヤーに劣化がないか？

❺ キーボックスの底のネジ穴が見える
(セッティングボルトが付いていない)

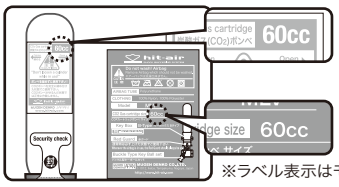


❻ 伸縮ワイヤーが正しくセットされている
伸縮ワイヤー取付方法・位置の詳細はP17〜18を参照下さい





❶ モデルによってカートリッジボンベのサイズ(容量)が異なります。
カートリッジボンベシールの表示サイズ(容量)とキーボックスカバー裏側のラベル表示が同じである事をご確認下さい。(モデルによってラベル表示が付いていない場合があります)



・表示が違う場合…破損の原因になります
※ラベル表示がない場合、サイズが不明の時は、hit-airカタログやホームページでご確認下さい。ホームページ"交換用ボンベサイズ表"を参照下さい。
www.hit-air.com
※ラベル表示はモデルによって表示内容が異なります

❷ 新品購入時に、カートリッジボンベとキーボックスに封印シールが無いもの、シールが破損(明らかに破れている)しているものは、カートリッジボンベを外してボンベの底部(ネジ部先端)に穴が開いていない事をご確認下さい。
・穴が開いていない場合…未使用カートリッジボンベです、問題ありません。
キーボックスにカートリッジボンベを取付けてご使用下さい。

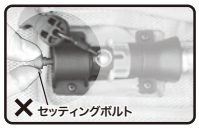
注意⚠ **カートリッジボンベのねじ込みが緩いと誤作動の原因となります**
(カートリッジボンベ取付方法の詳細はP23参照)
ボンベの底に穴が開いていないものは使用できます
・穴が開いている場合…使用済空ボンベですので使用できません。
新しい未使用ボンベを取付けてからご使用下さい
ボンベの底に穴が開いている場合は使用で来ません

※未使用カートリッジボンベの取付けは、"キーボックス再生作業"の手順に従って下さい。(P21〜23参照)

❸ キーボックスの赤いパーツ(赤ガード)が下にさがりキーボールが固定されていない事をご確認下さい。
赤ガードは再生の際にキーボールが正しくセットされた事を確認するためのパーツです。
通常時は上げた状態でご使用ください(詳細はP12参照)
注意⚠ **赤ガードを下げた状態で作動すると破損、誤作動の原因になります**

❹ **ワイヤーループ、伸縮ワイヤーに劣化がないか？**
擦れやほつれなど劣化している場合は、新しいものにお取り替え下さい。数年間使用しますと状況によって劣化する場合があります、1〜2年で新しいものにお取り替えする事をおすすめします。

❺ キーボックス底にセッティングボルトが付いていない事をご確認下さい。



セッティングボルトはキーボックス再生の際にキーボール取付け作業に使用するパーツです(詳細はP22参照)
・付いている場合…セッティングボルトが付いた状態では作動しません。必ずセッティングボルトは外してからご使用下さい

❻ **伸縮ワイヤーの取付けの際に、必ず結び目を付けて下さい。結び目は作動の際にワイヤーを抜けなくするストッパーの役割をします。**
注意⚠ **結び目がないとワイヤーが抜けてエアバッグは膨らみません。**

この取扱説明書を必ずお読みの上、正しくお使い下さい。安心安全のために、年に一度はメンテナンスのご利用をおすすめします。 無限電光㈱ TEL 052-807-7750 E-mail mugen@hit-air.com

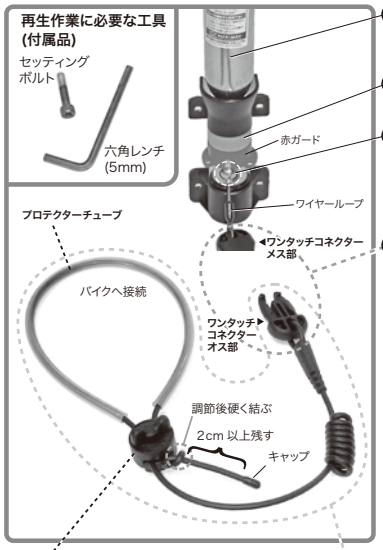
目次

hit-air ヒットエアー
（衝撃緩和保護システム付ジャケット）
取　扱　説　明　書

○お買い上げありがとうございました。
○ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みの上、正しくお使い下さい。
○この取扱説明書は、必ず常時携帯して下さい。

1 安全に関する注意事項 P5
2 概　要 P7
3 各名称・形状 P9
4 構　造 P11
4-1 機 能 …… P11
4-2 気 室 …… P11
4-3 キーボックス …… P12
4-4 キーボール …… P13
4-5 ヒットエアー構造 …… P13
4-6 CO^2カートリッジボンベの取扱い …… P14
5 使用方法 P15
5-1 ワンタッチリリースについて …… P15
5-2 ヒットエアー付ジャケットと伸縮ワイヤーの接続 … P15
5-3 伸縮ワイヤーとバイクの固定接続 …… P16
5-4 伸縮ワイヤー取付方法・位置 …… P17
6 作動時及び、作動後の注意 P19
7 作動後の再生 P20
7-1 再生するには …… P20
7-2 キーボックスの再生作業 …… P21
8 保管方法 P24
9 お手入れ方法 P24
10 買い換え（交換）のめやす P24
11 アフターサービスについて P25
12 保証について P25 保証書 巻末

はじめに　ヒットエアーに装備されたアクセサリー

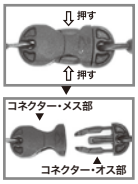


CO^2 カートリッジボンベ (P14参照)
キーボックスが作動するとボンベからCO^2ガスがエアバッグ(各気室)へと送り込まれ膨らみます。

キーボックス (P12参照)
エアバッグの基盤部（作動装置）

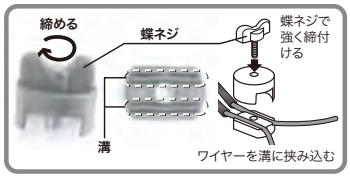
キーボール (P13参照)
キーボールが抜けるとエアバッグが作動します。
キーリングはキーボールをキーボックスに固定するパーツです。

ワンタッチリリース（コネクター） (P15参照)
乗車の際に取付けた伸縮ワイヤーのコネクター・オス部とウェア側のキーボックスのコネクター・メス部を接合して下さい。また降車の際、右図のように外してからお降り下さい。
（YKKと共同開発したバックル型）

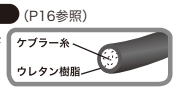


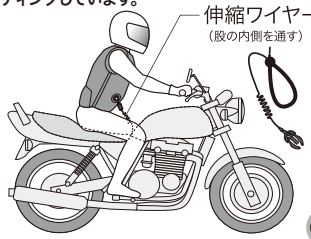
バイクにまたがった状態でワンタッチコネクターを接合して下さい

ループセッター (P16参照)
伸縮ワイヤーをバイクに取付ける際に固定するネジ
伸縮ワイヤーをバイクに取付け、長さ調節をした後でループセッター下部の溝にワイヤーを固定し、蝶ネジを締めます。



伸縮ワイヤー (P16参照)
強度に優れたケブラー糸を使用したワイヤーにウレタン樹脂で表面をコーティングしています。





プロテクターチューブ (P16参照)
バイクと伸縮ワイヤーへの損傷を防ぐ保護カバー
伸縮ワイヤーをプロテクターチューブの中に通し、バイクのフレーム、ハンドルなどの巻きつけ箇所の形状に応じ、適度な長さで切断して下さい。

1 安全に関する注意事項

本誌〈取扱説明書〉は、ヒットエアー（衝撃緩和保護システム）付ジャケットを、安全かつ適切にご利用頂くために、必ずお読みください。また、いつでも読めるように、大切に保管（バイク内等）して下さい。

取扱説明書で使われるマークは、次の状況を意味します。

警告 ⚠ **この表示を無視して誤った取扱いをすると人が死亡、又は、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**

注意 ⚠ **この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**

警告⚠1. ヒットエアー付ジャケットは、バイクに乗車の際に使用するもので、救命衣等、他の利用は出来ません。

警告⚠2. ヒットエアー付ジャケットは必ず、上衣として、サイズのあったものを着用して下さい。
レインウェア着用の際にも、レインウェアを着用した上に、ヒットエアーを着用して下さい。

警告⚠3. 使用済のカートリッジボンベを取り替える際は、モデル指定のサイズ（容量）のカートリッジボンベを使用し下さい。封板（底部/ネジ部先端）に穴が開いていないことを確認してご使用ください。

警告⚠4. ヒットエアー付ジャケット内蔵のパーツを分解しないで下さい。

注意⚠5. ヒットエアー付ジャケットを着用する場合は、下に着ている衣類の中に、突起物、鋭利な物は入れないで下さい、着用前には必ず取り外して下さい。
（例：ピン留めした名札、バッジ、ペン、ネクタイピン等）作動時及び、作動後にも気室（エアバッグ）を傷つけ、正常に膨らまない場合があります。

注意⚠6. ヒットエアー付ジャケット取扱時は、火気厳禁にして下さい。タバコ等が原因で、穴があいたり、破れたりした場合は使用できません。又、炭酸ガスボンベを内蔵しておりますので、使用時、保管時ともに40℃以下での使用に限ります。高温になると破裂の危険があります。

注意⚠7. ワンタッチリリース（コネクター）をはずすのを忘れてバイクから降りると、引っ張らた伸縮ワイヤーによってバイクが転倒する危険性がありますので、必ず、バイクに股がった状態でワンタッチリリース（コネクター）をはずして降車して下さい。

注意⚠8. 着用の前には、各部の破損などを自主点検してから着用して下さい。
お気づきの点等あれば、取扱店にご相談下さい。

注意⚠9. ヒットエアー付ジャケットが常に正常な機能を維持するために、使用頻度にもよりますが、年に一回程度の定期点検（メンテナンスチェック）を取扱店、又は当方に依頼（有料）して受けて下さい。

注意⚠10. 保管は、折り畳んだり、荷物の下に置くなどの負担のかかる方法は避け、ハンガーで吊りさげて保管して下さい。又、持ち運びや移動する際も同様です。
保管場所は、高温多湿の場所は避けて下さい。

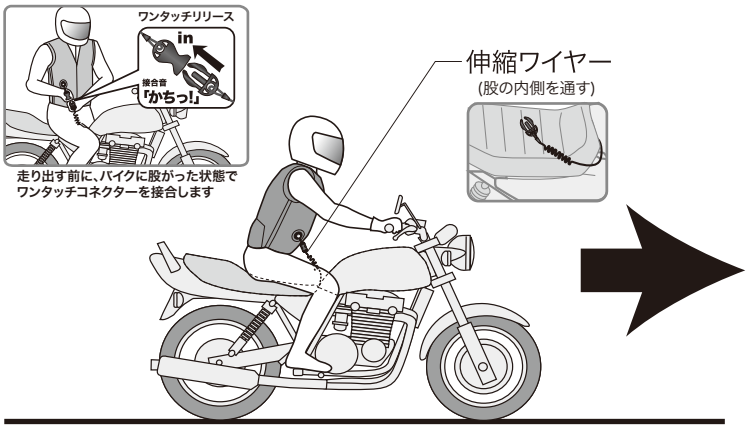
注意⚠11. ヒットエアー付ジャケットに、針を通したり、エンブレム等の縫付けやアイロンの使用はおやめ下さい。内部の気室を傷つけ、正常に作動しない場合があります。
エンブレム等の取付可能な位置は取扱店にお尋ね下さい。

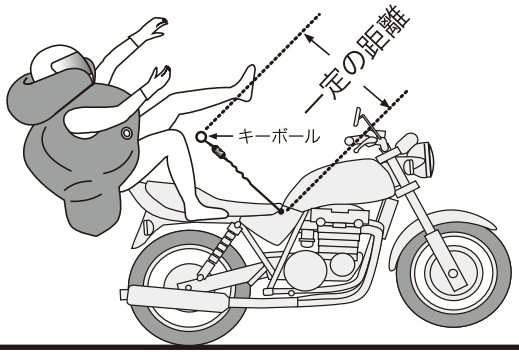
注意⚠12. バイクに取付ける伸縮ワイヤーが正しく取付けてあるか、各自チェックして下さい。
不完全な場合は正常に作動せずエアバッグが膨らまない場合があります。

注意⚠13. ヒットエアー・一体型エアバッグは洗濯、クリーニングはできません。

注意⚠14. キーボールに取付けられたワイヤーループ及び伸縮ワイヤーに、異常（ほつれ、さび、擦れ、切れ等）が確認された場合には、部品交換して下さい。

2 概　要





ヒットエアー(衝撃緩和保護システム)付ジャケットは、バイク乗用の際、上衣として着用します。

転倒、衝突などによってライダーがバイクから**一定の距離**〈※1〉離れた瞬間に、キーボールが抜け、ヒットエアーに組み込まれたキーボックスが作動して、カートリッジボンベより炭酸ガスが各気室に送り込まれ、瞬間的に膨張するようになっています。その膨張した気室が、人体と外部の接触物の間に入り、衝撃を緩和する仕組となっています。このような特性を持って人体各部への損傷を少しでも軽減出来る事を目的として作られたシステムです。

「本製品は、着用していれば必ず安全である、又、安全を保証するというものではありません」

キーボールは、簡単に抜けない仕組みになっており(4-3 キーボックス〈P12〉参照)走行時に予想される、ライダーのスタンディングなどの動作は、伸縮ワイヤーによって吸収され作動しないようになっています。

〈※1〉一定の距離とは、ヒットエアー付ジャケットを着用し、ワンタッチコネクターを接合してバイクとつながった状態で、バイクに固定されている伸縮ワイヤーが何の障害〈※2〉もなく伸びきった状態の距離をいう。方向は前後左右を問わず同じである。

〈※2〉障害とは、ヒットエアー付ジャケットを着用し、ワンタッチコネクターを接合してバイクとつながった状態で、伸縮ワイヤーに障害物(車両、荷物、その他)などが触れたりからんだ場合の事をいう。これらの場合、一定の距離に至らなくても作動する事があります。

○バイクと共に、衝突・転倒しバイクと着用しているヒットエアー付ジャケットが一定の距離を離れない場合は作動しません。

○ヒットエアー付ジャケットは、膨張した気室以外の場所は、衝撃緩和の効果はありません。

○ヒットエアー付ジャケットを着用し、バイクから降車する際に、ワンタッチリリースの取り外しを怠り、一定の距離離れ、約30kg～35kgの力(4-3 キーボックス〈P12〉参照)がかかった場合も、キーボールが抜け、作動しエアバッグが膨らんでしまいます。誤操作に十分注意して下さい。
誤操作防止のためワンタッチリリースの取付け・取外しは、バイクに股がった状態で行って下さい。

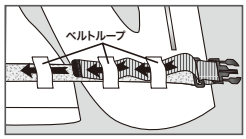
○一度作動したカートリッジボンベは使用できません。サイズ(容量)の合った未使用のものとお取り替え下さい。

3 各名称・形状

ヒットエアー付ジャケット・一体型エアバッグの各名称・形状

※デザイン、形状等は写真と異なる場合があります

※1)アジャストベルトでウェスト調節の際、必ずベルトループに通してからご使用下さい。
ベルトループを通さないで使用し作動した場合に、ベルトが外れてエアーバッグ本来の機能(衝撃緩和)を損なう恐れがあります。
モデルによってベルトループの数が異なる場合があります



※デザイン、形状等は写真と異なる場合があります

4 構　造

4-1 機　能

1. 「一定の距離」離れた瞬間作動し、エアーバッグ(気室)に炭酸ガスを送り込み膨らみます。最大限に膨らむまでにも、衝撃を緩和する効果があります。
2. 胸部にあるカートリッジボンベ及び、キーボックスの背面部分には、アクシデントなどの際にそれらの突起物が原因となる衝撃を緩和・分散させるために、緩衝材のABS製プロテクターが取り付けてあります。
3. 作動後、最大限に膨らんだエアバッグ(気室)は、徐々にガスが抜ける仕組みになっています。 アクシデントの衝撃度合いなどにより変わりますが、作動直後に身体への圧迫がありますが、徐々にガスが抜けて圧迫がなくなっていきます。息苦しい場合は、脱衣して圧迫を解消して下さい。

注意 4. ヒットエアーシステム及びウェアの生地、気室、マジックテープ、ファスナー、バックル等が傷ついたり、破損した場合は、正常な作動をしません。取扱店にご相談下さい。再生できない場合があります。

注意 5. 事故などで作動し、傷・破損等が見当たらない場合でも取扱店、又は当方にてメンテナンスチェック〈※3〉を行ってから再使用する事をお勧めします。

〈※3〉メンテナンスチェックとは、ウェアなどに、傷・破損が見当たらなくても、その中に組み込まれている気室に破損がある場合がありますので、当方にて各気室に空気を入れ漏れがないか、又、組み込まれた部品に異常がないかを確かめる作業です。

4-2 気　室

1. 気室の素材は、筒状のポリウレタンフィルムを使用し、より強度をもたせ、作動時の衝撃を出来るだけ多く吸収するようにしてあります。
2. 通常、作動した瞬間の気室の圧力は、最大膨張時30kpa(0.3kg/㎠)程ですが、徐々にガスが放出され、圧力はさがっていく様になっています。
3. 炭酸ガス(CO2)はキーボックスからエアーチューブを通り各気室(ポリウレタンフィルム)に送り込まれます。
4. 破損等に対する強度は、ウェアの素材、ポリウレタンフィルム及び、縫製強度によっても違います。また、接触する物の形状、強度、摩擦等によってもか変わります。

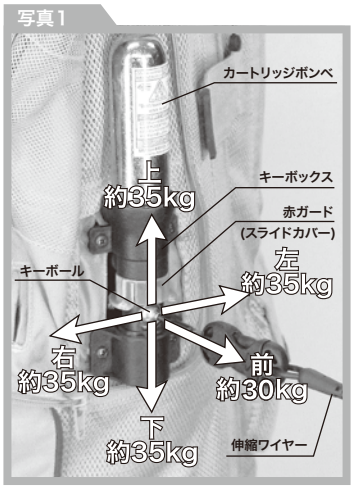
○ ヒットエアーは、衝撃によるダメージを少しでも和らげるために作られたものであり、接触物の形状及び、衝撃の度合いにより、破損等も考えられます。

4-3 キーボックス

○キーボックス

この装置(写真1)は、通常約30kg～35kg程度で伸縮ワイヤーを引っ張る力により、キーボールが抜けて、キーボックス内に組み込まれている圧縮バネと針が連動し、カートリッジボンベの底部(封板)に穴を開けて炭酸ガスを送り、作動させます。
着用時、前方どの方向から引っ張られてもキーボールが抜ける仕組みとなっています。

写真1

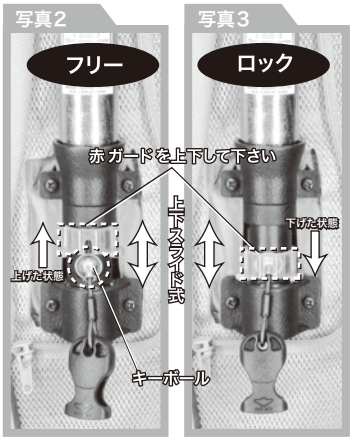


警告 キーボックスを分解したり、部品をはずさないで下さい

○赤ガード(スライドカバー)

赤ガード(スライドカバー)は、使用時は必ず上(フリー)の位置にして下さい(写真2)。
赤ガードは、キーボックス再生の際にキーボールが正しくセットされたかを確認するためのパーツです(写真3)。
キーボールが正しくセットされていないと赤ガードは下にスライドしません。

写真2　写真3

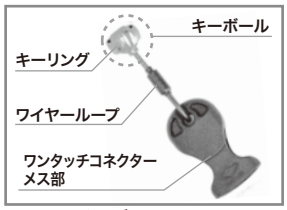


警告 1. 赤ガードが下にスライドされたロックの状態(写真3)では、アクシデントの際に作動しない恐れがあります。また、キーボールがキーボックスから抜けない場合、バイクと繋がったままになり大きな事故につながる危険性があります。使用時は必ず赤ガードを上(フリー)の位置にある事を確認して下さい(写真2)。

注意 2. 赤ガードがロックの状態(写真3)でも、大きな力で引っ張られた場合、キーボックスが壊れ作動する事があります。また、直ぐに作動しなくても、赤ガードを戻した時などに、急に作動する場合があります。

4-4 キーボール

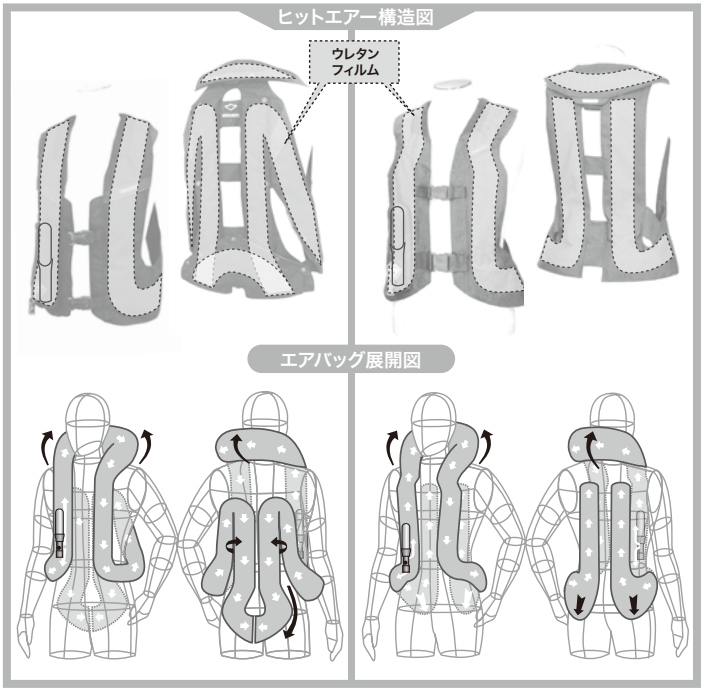
キーボールは、キーボックス内の圧縮バネと針を固定する役割をし、キーボールが抜けると圧縮バネと針が連動してカートリッジボンベの封板に穴をあけ、エアーバッグ(気室)が膨らみます。
キーボールとキーリングは、一体型のパーツです。



キーボールセット

4-5 ヒットエアー構造

ヒットエアー・一体型は、表面の生地(カバー)の中に直接エアバッグのウレタンフィルムが内蔵されています。内蔵さてたウレタンフィルムが膨らみ衝撃を緩和します。



※モデルによって気室の形状が異なる場合があります

4-6 CO^2カートリッジボンベの取扱い

○カートリッジボンベ内には炭酸ガス(CO^2)が充填されています。

○キーボックスよりキーボールが抜けた際に、圧縮バネが針と連動し、カートリッジボンベの底部(封印板)に穴を開けて、カートリッジボンベ内のガスを各気室へ送り込みます。

○一度作動(使用)したカートリッジボンベは使用できません。
(使用済カートリッジボンベは底部(封印板)に穴が開いています)
未使用の新しいカートリッジボンベとお取り替え下さい。

○カートリッジボンベをキーボックスに取付ける際に、ねじ込みが足りないと針がカートリッジボンベ底部(封印板)に届かず作動しない場合や、作動してエアーバッグが膨らんでも数秒後に遅れてゆっくり膨らむ様な誤作動の原因になります。
カートリッジボンベの取付けは、必ず根元までねじ込んでご使用下さい。

下記の注意事項を守って下さい。破裂の危険性があります。

警告 1. カートリッジボンベは、40℃以下で使用及び、保管して下さい。(高温となる車中などでの保管はおやめください。)

警告 2. カートリッジボンベに強い衝撃を与えないで下さい。

警告 3. カートリッジボンベを加熱しないで下さい。

警告 4. カートリッジボンベの外面をサビさせないで下さい。サビ等が発生した場合は新しいものとお取り替え下さい。

警告 5. 使用済のカートリッジボンベはガスがはいっていない事を確認してから廃棄して下さい。

警告 6. カートリッジボンベを切断したり、穴を開けるなどの行為はおやめ下さい。

警告 7. モデルによってカートリッジボンベのサイズ(容量)が異なります、交換の際は必ずモデル指定のサイズ(容量)をご使用下さい。
不明な場合は、当社ホームページの「交換用ボンベサイズ表」を参照下さい。
www.hit-air.com

注意 8. ヒットエアー以外の用途で使用しないで下さい。

注意 9. ヒットエアー製カートリッジボンベ以外は使用できません。

注意 10. 子供の手の届かない所でご使用、保管して下さい。

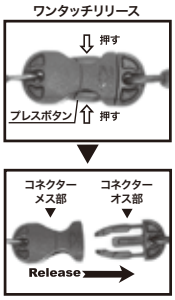
注意 11. 通常時(使用時)は、セットしたカートリッジボンベを回して緩めたり外したりしないで下さい。

注意 12. 再生作業等でカートリッジボンベを外した場合、カートリッジボンベをキーボックスに取付ける際、根元までいっぱいにねじ込んで下さい

5 使用方法

5-1 ワンタッチリリースについて

○ ヒットエアーには、バイクへの乗降時に簡単に取付け、取外しできるワンタッチリリースが必要となります。ワンタッチリリースとは、バイクの所定の位置に取付けた伸縮ワイヤーと、ヒットエアー付ジャケットのキーボックスから出ているキーボールとをつなぐパーツです。



注意 ⚠

1. 乗降時・走行時にワンタッチリリース(コネクター)などがバイクのタンク各部位に接触し、傷つく場合があります。
※上記の状況が予想される場合、タンク保護シール等にょう保護をお勧めします。
2. 接合する際は、メス部を持ちながらオス部を挿入して下さい。その際に「カチッ」と挿入音が出るのを確認してください。挿入音もなく不完全に挿入している場合は、外れる事があります。
3. オス部とメス部の挿入がうまく出来ない場合や違和感がある場合は、新しいものにお取り替え下さい。無理に行うと、外せなくなる事や自然に外れる場合があります。
4. 降車時に、接続を解除したオス部・伸縮ワイヤーが、エンジン部分やマフラーなどの高温部分に触れると変形や破損の恐れがあります。

5-2 ヒットエアー付ジャケットと伸縮ワイヤーの接続

○ 走行するために接続するには、バイクに股がってから、ワンタッチリリース(コネクター)のメス部の両端を持ちながらオス部を挿入させ、「カチッ」という挿入音を確認して下さい。(写真1)

○ バイクから降りる際には、ワンタッチリリース(コネクター)のプレスボタン(両側)を押して、外してからバイクをお降り下さい。(写真2)

写真 1

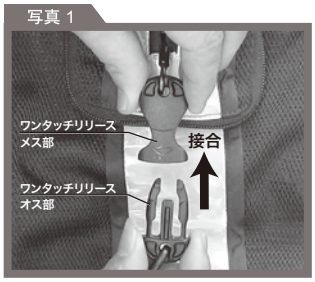
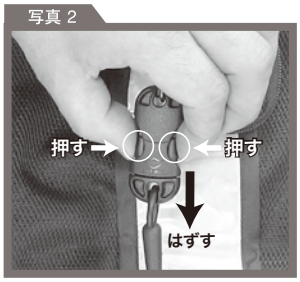


写真 2



警告 ⚠ 接続して走行する前に、キーボックスの赤ガードが上(フリーの状態〈P12〉写真2参照)になっている事を確認して下さい。ロックの状態では作動しない事や誤作動・破損する場合があります。

5-3 伸縮ワイヤーとバイクの固定接続

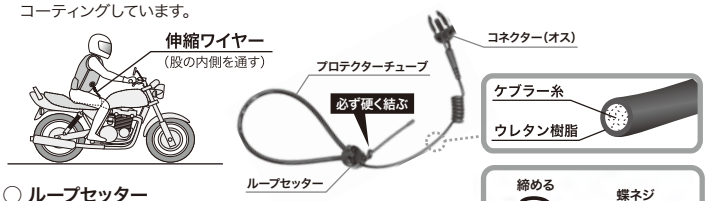
伸縮ワイヤーのバイクへの接続方法、接続箇所は各種バイクにより異なります。
乗車時は様々な状況によりライダーの動きが変わります、その場面を十分想定し、誤操作による誤作動が起こらない様に、伸縮ワイヤーの長さ、バイクへの取付け位置を決めて下さい。
(伸縮ワイヤー取付方法・位置 P17～18参照)
不適切な接続の場合、誤作動や作動しない恐れがありますのでご注意下さい。

警告 ⚠
1. 降車時に、接続を解除した伸縮ワイヤーがエンジン等の高熱部分に触れた場合、変形や破損の恐れがあります。
2. 伸縮ワイヤーは運転の妨げになる場所への取付けはお避け下さい。
3. 伸縮ワイヤーをヒットエアー付ジャケットに接続しないで走行した場合に、車輪に絡み付く場所への取付けはお避け下さい。事故につながる恐れがあります。

注意 ⚠
4. 乗降時・走行時に伸縮ワイヤーなどがバイクの各部位に接触した場合や、ヒットエアー作動時にキーボールが抜けた際に伸縮ワイヤーの先に付いたキーボールなどがバイクの各部位に接触し、傷つく場合があります。
5. 伸縮ワイヤーの取付けが不完全の場合、伸縮ワイヤーが抜けて作動しません。
6. 外装にこすれ傷、こげあと、めくれ、ヒビ等の異常を確認した場合は新しいものにお取り替え下さい。そのまま使用すると、伸縮ワイヤーの切断やループセッターから抜け外れの原因となります。
7. 伸縮ワイヤーのお取り替えは、各自の責任において適切に行って下さい。また、事故の原因となりますので当社指定の伸縮ワイヤーを必ずご使用ください。

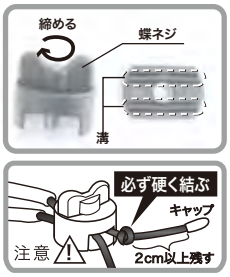
○ 伸縮ワイヤー

伸縮ワイヤーのワイヤー部には、強度に優れたケブラー糸を使用し、ウレタン樹脂で表面をコーティングしています。



○ ループセッター

ループセッターは、伸縮ワイヤーの長さを調節し固定するパーツです。
乗車の際に、蝶ネジが強く締まっている事を確認して下さい。
長さ調節する場合は、ワイヤーをループセッターの溝に挟み込み、蝶ネジを強く締めて下さい。ループセッターより出たワイヤーは根元に結び目を作り(硬く結ぶ)、先端部を2cm以上残して、余った部分を切り、キャップをはめて下さい。
※結び目が無いとワイヤーが抜けてエアバッグは膨らみません。

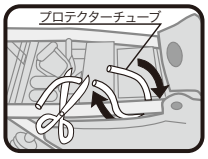


○ プロテクターチューブ

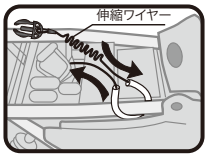
バイクと伸縮ワイヤーへの損傷を防ぐ保護カバー
伸縮ワイヤーをプロテクターチューブの中に通し、バイクのフレームやハンドルなど、巻き付け箇所の形状に応じて、適切な長さに切って使用下さい。

5-4 伸縮ワイヤー取付方法・位置

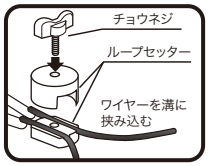
○伸縮ワイヤーの取付方法



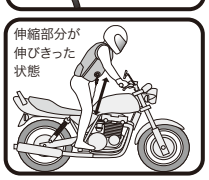
1 フレームにプロテクターチューブを巻き付けて長さを調節し、余った部分はカットします。



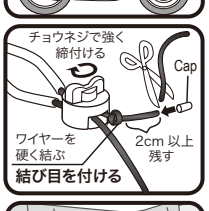
2 プロテクターチューブに伸縮ワイヤーを通します。



3 プロテクターチューブから出たワイヤーをループセッターで仮止めし、伸縮ワイヤーの長さを調節します。

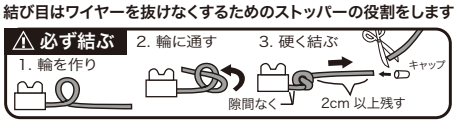


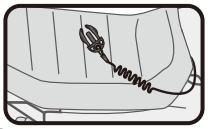
4 バイクに股がりスタンディング姿勢で、伸縮ワイヤーが伸びきった状態で長さを決めます。



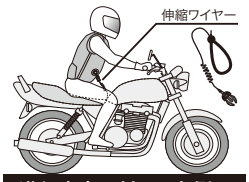
5 ループセッターでしっかり固定し、余ったワイヤーの根元を硬く結び、2cm以上残した状態でカットし、先端にキャップをします。

結び目はワイヤーを抜けなくするためのストッパーの役割をします



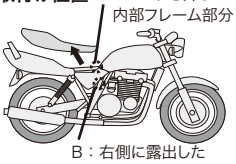


6 シートをかぶせて完成です。



進行方向に対して右側のフレームに取付けます

取付け位置 A：シートを外し内部フレーム部分

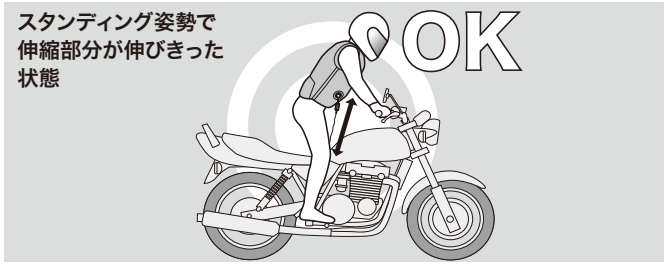


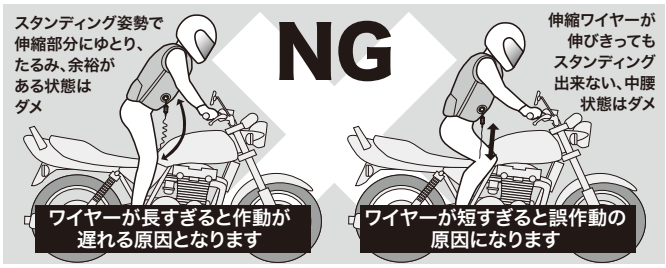
B：右側に露出した固定可能なフレーム部分

注 意 ⚠ Caution
伸縮ワイヤーは、運転動作の妨げになるような場所、バイクに損傷を及ぼす場所、引っ張られた際に外れたり抜けたりする場所、エンジンやマフラー等の高温付近、などへの取付けはおやめ下さい。

○伸縮ワイヤーの長さ調節方法

バイクにまたがりスタンディングし伸縮ワイヤーの**伸縮部分が伸びきった状態**にする





スクーター例 1
ハンドル首部の場合

車上でのスタンディングし伸縮部分が伸びきった状態

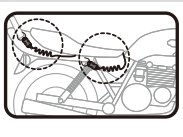
スクーター例 2
シート部の場合

地面からスタンディングし伸縮部分が伸びきった状態

スクーター例 3
後部シートの場合

後部ステップからスタンディングし(中腰程度)伸縮部分が伸びきった状態

バイクの大きさ車種、ご自身の身長によって伸縮ワイヤーの取付位置、長さが異なります。
上記を参考にご自身にあった方法で調節して下さい。



《別売》収納用ワンタッチコネクター
バイクを降りた時にワイヤーを収納固定出来ます

6 作動時及び、作動後の注意

着用したヒットエアー付ジャケットが作動し膨らんだ状態になった場合、以下の点に注意して下さい。

1. ヒットエアー付ジャケットは、特に首を保護するため、膨らんだ際首周りに圧力がかかります。そのため、着用しているヘルメットのあごひもが取れにくくなったりする場合がありますが、その際はバックル等を外して下さい。
2. 現場の状況に合せて慌てずに、脱衣して下さい。
3. 事故等により現場が危険な場合、安全な場所へ避難してから脱衣して下さい。
4. 瞬時に膨らんだヒットエアー付ジャケットは、身体に多少の圧力がかかりますが、徐々に炭酸ガスが抜けていくようになっています。
   事故により膨らんだ状態で車両に挟まれたり、圧迫をうける状態になっても落ち着いて行動して下さい。
5. 膨らんだ気室が、大きな衝撃や鋭利な障害物により破損した場合は、気室前部の炭酸ガスが直ぐに抜けてしまいます。

注意⚠ 6. 走行中において何らかの原因により誤って作動してしまった場合は、慌てず、すみやかに安全な場所へバイクを移動し、ヒットエアー付ジャケットを脱衣して下さい。
そのまま走行しますと、膨らんだ気室等によって大きな風圧を受け、不安定な状態となり大変危険です。

注意⚠ 7. 作動の際、外傷の出来たヒットエアーは、取扱店や当方でメンテナンスチェックの上、カートリッジボンベを新しいものに取り替えて再びご利用下さい。
著しい外傷、部品破損の場合は、再生出来ない場合があります。

注意⚠ 8. ツーリングなどで一度作動したヒットエアー付ジャケットを、やむをえずお客様が再生させる場合は、以下の点に注意して下さい。

◯ヒットエアーの外傷（キズ・穴）等がない事を確認する。
◯作動した時に、エアバッグが膨らんだ事を確認する。
◯予備のカートリッジボンベは、ジャケット指定のサイズ（容量）で未使用のカートリッジボンベである事を確認する。

上記を確認した上で、問題がなければ、お客様の責任に於いて再生して下さい。
異常がある場合は、正常に作動しない場合があります。
詳しい再生方法は"作動後の再生"P20～23を参照して下さい。

7 作動後の再生

7-1 再生するには

一度作動したヒットエアーシステムは、取扱店で〈メンテナンスサービス〉をして、再生させる事をおすすめします。ここに紹介するセッティング方法で、各自で再生する事はできますが、正しくセットしないで利用した場合、正常に作動しない場合があります。又、作動した際などに外傷等の異常が発生したものは再生できません。以上の点を十分考慮してお取り扱いください。

再 生 方 法

作動（展開）
- 異常有り → 取扱店に持ち込み、メンテナンスチェックにより、再生可能か確認してもらい指示を受ける
- 異常無し → 取扱店に持ち込み、必要な部品（カートリッジボンベ等）を交換して再生する
- 異常無し → 各自で再生する
  ※未使用カートリッジボンベと付属の再生工具（セッティングボルト、六角レンチ）が必要です

※附属品として六角レンチとセッティングボルトが付いています

各自で再生するおおまかな手順 詳しくは次のページの「再生作業」を参照下さい

- 未使用カートリッジボンベと再生工具を準備します 〈P21〉1 参照
- ▼
- キーボックスに工具を使ってキーボールをセットします 〈P21〉2 参照
- ▼
- カートリッジボンベを外します 〈P21~22〉3~8 参照
- ▼
- エアバッグ気室から炭酸ガスを抜き出します 〈P22〉9 参照
- ▼
- 未使用カートリッジボンベを取付けます 〈P23〉11 参照
- ▼
- キーボックスのカバーを締めて完了です 〈P23〉12 参照

7-2 キーボックスの再生作業

1.再生に必要な工具を準備します(写真1)
未使用のカートリッジボンベと再生に必要な工具の六角レンチとセッティングボルトを準備します。

注意⚠ カートリッジボンベはジャケット指定のサイズをご使用下さい。

2.キーボックスにセッティングボルトを差し込みます(写真3)
キーボックスの下面にある穴にセッティングボルトを差し込み、手で締めます。きつくなったら六角レンチを使用下さい。
（ボルトを締めるとキーボールの穴が下へ移動します）

3.六角レンチでキーボールの穴が中心にくるよう調節します(写真4)
徐々に締めていき内側の金属穴を外側穴の中心に来るように調節します。
キーボールの穴が中心に来たら、キーボールをセットします。

4.キーボールをセットします(写真5)
キーボールのリングを穴に深く押し込みます。リングと穴を平行にセットします。うまく入らない場合は、セッティングボルトを緩めたりリングを爪で押し込んだりします。

5.赤ガード（スライドカバー）でキーボールが正しくセットされたかを確認します(写真6)
キーボールのワイヤーループを下に向け、赤ガードを下にスライドさせます。
スムーズに下にスライド出来ればセット完了です。下にスライド出来ない場合は、キーボールが正しくセットされていませんので、再度、セッティングボルトを緩めたりリングを爪で押し込んで正しくセットして下さい

写真1

写真2

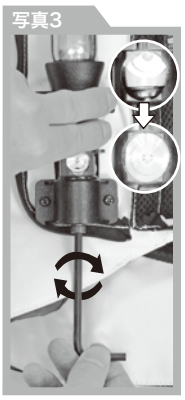
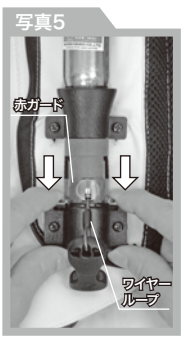
写真3


写真4

写真5


次ページへ

6.セッティングボルトを外します(写真7)
キーボールがセット出来たら必ず六角レンチでセッティングボルトを外します。

警告⚠ セッティングボルトを外し忘れるとエアバッグは膨らみません。

7.赤ガードを上にスライドさせ、再使用出来るようにします。(写真8)

注意⚠ 赤ガードを下げた状態で作動すると破損、誤作動の原因になります

8.使用済カートリッジボンベを回してキーボックスから外します。(写真2)
カートリッジボンベの付根はネジになっていますので、使用済カートリッジボンベを写真 9 の様に回しながらキーボックスから外します。

カートリッジボンベのシールの指示方向に外します

9.エアーバッグ(気室)からエアを抜きます(写真2)
気室からガスを抜く作業を行います。突起物などの無い平坦な場所にヒットエアージャケットを広げて各気室部分を押すようにしてガスを抜き出して下さい。丸めたり、畳んだりする行為はおやめ下さい、内部部品に損傷を与える場合があります。根気よく、ほぼ完全にガスが抜けるまで行って下さい。

注意⚠ この作業が完全に行われない場合は各気室部分の収納がうまく出来なくなります。また、エアーバッグの誤作動の恐れがあります。

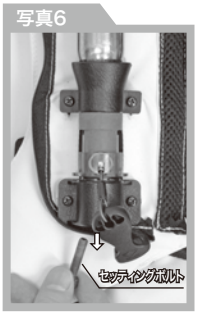
写真6


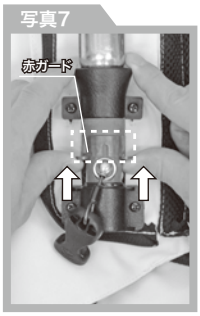
写真7


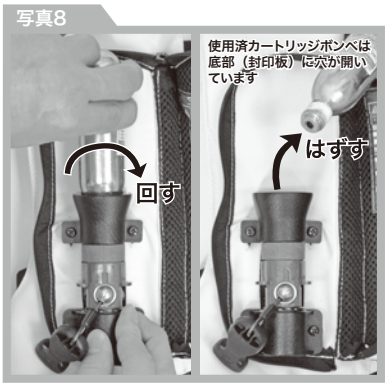
写真8


写真9

次ページへ

7-2

10.各気室を収納してボタンやマジックテープを留めます。(写真10)

写真10

11.未使用の適合カートリッジボンベ*を取付けます(写真11)

未使用のカートリッジボンベを、キーボックスの取付けネジ部分に根元までねじ込んで下さい。
異常が感じられる場合は取扱店にご相談下さい。

カートリッジボンベのシールの指示方向に締めて取付けます

注意⚠
カートリッジボンベのねじ込みが緩いと、エアバッグ作動の際に膨らみが弱くなるなどの誤作動の原因になります

写真11

注意⚠
使用済カートリッジボンベを取外した際、キーボックス内側の針に損傷が無いか確認してください。
針に損傷がある場合は、取扱店にご相談ください。
針が損傷した場合、エアバッグは作動しません。

12.キーボックスカバーを閉じる(写真12)

ワンタッチコネクターメス部をキーボックスカバー穴から外に出し、キーボックスのカバーを閉じて下さい。

写真12

完了

8 お手入れ方法(クリーニングについて)

1.ヒットエアー・一体型エアバッグは洗濯・クリーニングは出来ません。
2.水に浸けないでください。
3.雨天などで濡れた場合、日陰干しをしてください。

ヒットエアー・一体型が汚れた場合
・濡れタオル等で汚れを拭き取るようにして下さい。
・ボンベを付けたままハンガーにかけ、お風呂場などで表面にシャワーで水をかけて汚れを落としてください、その場合、キーボックスに直接水をかけないでください。

9 保管方法

ヒットエアー付ジャケットを永く安心して使用するために、次のような所や条件下では保管しないで下さい。

1. 高温になる所(直射日光の当る場所、車中、ストーブの近くなど)
2. 雨漏りする場所
3. 蒸気のあたる場所
4. 湿気の多い場所
5. 他の物の下積み
6. ネズミなどの害のある場所
7. 子供の手の届く場所
8. 折り畳んだり、丸めたりしての保管(ハンガー掛けにして下さい)

10 買い換え(交換)のめやす

ヒットエアーを何のトラブルもなく正常に使用された場合でも、以下の様な状態が発生した場合は、新しく買い換えるか取扱店にご相談下さい。

1. 生地部分がこすれたり、ほつれたりしてきた場合。
   又、それによって内部気室(ポリウレタンフィルム/白色)が見えてきた場合。
2. キーボックス部分やカートリッジボンベにヒビ、サビが発生した場合。
3. 伸縮ワイヤー、ワイヤーループが擦れなどによって、ほつれが出た場合。
4. 各素材が著しく変色、変化が生じた場合。

11 アフターサービスについて

〈修理を依頼される時〉
○ お買い上げの取扱店まで保証書を添えて、商品をご持参下さい。
修理により商品の機能が維持できる場合に、ご希望により有料で修理させていただきます。
取扱店にお依頼にならない場合には、直接、当方へお問い合せ下さい。

〈メンテナンスチェックをご希望の場合〉
○ ヒットエアー付ジャケットが常に正常な機能を維持するために、使用頻度にもよりますが、年に一回程度の定期点検(メンテナンスチェック)を取扱店、又は当方に依頼(有料)して受けて下さい。

お問い合せ先：無限電光株式会社
TEL: 052-807-7750　E-mail: mugen@hit-air.com

12 保証について

○はじめに「本製品は、あなたが事故等のトラブルの際、安全を保証するものではありません」

1. 巻末ページが保証書です。必要とあれば切り離して御使いください。
2. 必ず「取扱店名、購入日」等の記入をお確かめの上、保証書内容をよくお読みいただき、大切に保管して下さい。
3. 「取扱店名、購入日」の記入のない場合、又、虚偽の記入の場合、保証いたしかねます。

hit-air
SHOCK BUFFERING SYSTEM

製造、発売元　**無限電光 株式会社**
〒468-0055 名古屋市天白区池場1丁目1012
TEL 052-807-7750　FAX 052-807-7901
E-mail mugen@hit-air.com
URL www.hit-air.com

保証書

キリトリ線

ヒットエアー (衝撃緩和保護)システム保証書

1. 〈保証の発効〉
この保証書は、お買い上げの販売店が、保証登録書に必要事項を記入、捺印する事により、有効となります。

2. 〈保証内容〉
○弊社が製造したヒットエアー付ジャケットを構成する各部品の材料、又は、製造上の不具合が発生した場合は、その部品の交換、又は、補修により、無料で修理致します。その際、取りはずし、交換した部品は、弊社の所有となります。
○使用後のウエア(布地、皮、ケブラー)及び、内部気室(ウレタンフィルム)の破損については、保証の対象になりません。

3. 〈保証期間〉
○お買い上げ日より1ヶ年
○通販等、配達によってお買い上げの場合、発送日より1日後からの1ヶ年となります。

4. 〈保証できない事項〉
1). 次に示す事項は、保証修理致しません。
①使用上の誤り及び、不当な修理や改造による故障及び、損傷。
②取扱説明書などに示す取扱方法と異なる使用に起因する不具合。
③保守、整備の**不良**、又は、間違いに起因する不具合。
④弊社以外の者(販売店、販売会社含む)が取り付けた、指定外部品及び、それに起因する不具合。
⑤指定部品であっても、異なった取り付け、操作によって起因する不具合。
⑥指定されたカートリッジボンベ以外の物を使用した場合。
⑦地震、台風、落雷、水害などの天災、事故、又は、火災に起因する不具合。
⑧レース、ラリーなどによる酷使、あるいは、一般に車が走行しない場所での使用をされた場合。
⑨経時変化、あるいは、使用損傷により発生する不具合(各パーツの色あせ、ほつれ、サビ、襟の型くずれなど)。
⑩機能上影響のない感覚的現象(しわ、色あせ)、**外観の劣化。**
⑪海外へ持ち出された場合(その時点で保証が打ち切りになります。)
2). 次に示す費用は負担致しません。
①メンテナンスチェック及び、整備にかかる費用。
②使用によって消耗した部品。
③使用及び、再使用出来なかった事による不便さ、及び損失など。(電話代、レンタカー代、休業補償、営業損失など)
④指定販売店以外での修理費用。

5. 〈保証の適用〉
この保証書は、日本国内で販売し、使用される商品のみに適用します。よって、海外へ持ち出す場合は、その時点で保証が打ち切りになります。